

属人的な業務からの脱却へ AI活用でデジタル化を推進

特集 生産性向上支援

日本は「課題先進国」と称されるように、諸外国に先んじて人口減少・少子高齢化が進み、それに伴い生産年齢人口が減少の一途を辿っている。こうした社会課題の解決に向けて、ICT技術やデジタル技術の導入・活用により、労働者1人当たりの生産性(労働生産性)を向上していくことが各企業に求められている。

デジタル化の推進は、労働生産性の向上という点だけでなく、昨今のコロナ禍を受けて感染症や自然災害に対応できる強

韌性(レジリエンス)を確保し、持続可能な社会を実現するうえでも重要なポイントになっている。同社ではこのほか、スタートしている。最新のAI・IoT技術を用いて、原料の搬送や

投入の自動化を可能とするソリューションを提案している。こうした各社の提供サービスを通じて属人的な業務からの脱却を進めていくことで、人々にし

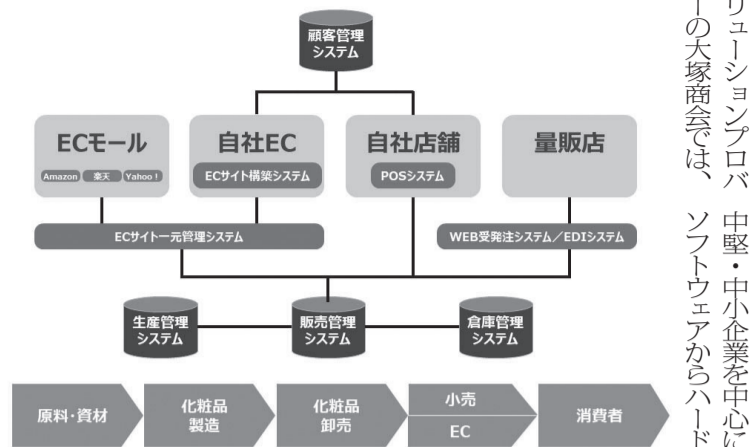
かできない生産的でクリエイティブな仕事に専念することが可能になり、これによりプロダクトイノベーションを含めた新たな付加価値の創出につながることを期待される。

「販売データ」は、卸売業が小売業等に商品を販売した実績をメーカーに通知するデータで、メーカーのエリアマーケティングにも活用されている。卸売業の在庫を早い段階で把握できるため、生産管理にも役立つという。小売業の店舗や物流センターには同社が標準取引先コードを付番しており、そのコードを利用すれば各社におけるコード変換作業も軽減

「化粧品・日用品業界では、春と秋に多くの新商品が発売される。新商品の発表の後、その商品が発注されるまでの短期間に、メーカー営業は新商品情報を卸売業指定のファイルを作成してメールで送付したり、卸売業の商品マスタシステムに登録したりしなければならず、提供方法がバラバラで煩雑なうえに手入力によるミスが起きやすくな

「化粧品・日用品業界では、春と秋に多くの新商品が発売される。新商品の発表の後、その商品が発注されるまでの短期間に、メーカー営業は新商品情報を卸売業指定のファイルを作成してメールで送付したり、卸売業の商品マスタシステムに登録したりしなければならず、提供方法がバラバラで煩雑なうえに手入力によるミスが起きやすくな

化粧品・コスメ業界向けソリューション概要図



大塚商会 社外の有力サービスも組み合わせ 製造業のD2Cビジネスをサポート

ソリューションプロバ イターの大会商では、 ソフトウェアからハードウェア、インフラ環境に至るまで、全体最適を見据えながら製造・小売に 関連する多彩なソリューションを一気通貫で提案 し、さまざまな業種・業 界での業務効率の改善サ ポートに強みを持つ。

化粧品業界ではこれまで、配合表(レシピ)に 基づいて製品づくりを行 う化粧品・食品・化学製 品などの配合系製造業に 特化した「生産革新BI ending」(プレンジ ン)を中心に、原料・ 資材メーカー向けの生産 管理システムなどを提供 してきた。

近年は化粧品をはじめ

「製造メーカーがD2 Cビジネスを新規で展開 するには、卸だけでなく 小売やEC、さらにはそ の先の消費者へと商品を 届ける仕組みが不可欠 だ。それを実現するため には、生産管理システム だけでなく、販売管理や 倉庫管理など複数のシス テムとのデータ連携が必 要になる。これに対し、 製・配・販に関連したあ らゆる商材を展開する当

社では、生産管理とEC を含めた販売管理を組み 合わせて提案し、さらに アマゾンなどのショッピ ングモールや自社ECと のデータ連携も全てオー リンワンで支援するこ とにより、お客様の業務 効率化をサポートする」 (同社)

大塚商会ではこのほ か、特定のメーカーに特 化しない独立系のマルチ ITベンダーとして、自 社独自に開発したシステ ムや商材以外にも、社外 の有力サービスを組み合 わせ、顧客に最適なソリ ューションを提案するこ とを強みとする。

同社が窓口となり、全 世界175カ国100万 店舗以上で導入され、流 通総額17兆円を超えるカ ナダ発のECプラットフォーム

「デジタル技術が自ま ーズの変化対応にも強く なり、コストメリットも 生まれる。今後も社外サ ービスとの連携を強化 していくほか、市場二 社)

様々な物流課題を解決する ロジステイクスEDIを推進



田上社長

プラネットは、EDI やデータベースで化粧 品・日用品業界の企業間 取引をサポートしている。 同社は、メーカー・卸 売業間でやり取りされて いる商取引に必要な情報 を業界として標準化し、 「基幹EDI」サービス を提供している。複数の 取引先と効率的なデータ 交換が可能となり、受発

「化粧品・日用品業界 では、春と秋に多くの新 商品が発売される。新商 品の発表の後、その商品 が発注されるまでの短期 間に、メーカー営業は新 商品情報を卸売業指定の フォーマットで作成して メールで送付したり、卸売 業の商品マスタシステムに 登録したりしなければなら ず、提供方法がバラバラ で煩雑なうえに手入力に よるミスが起きやすくな

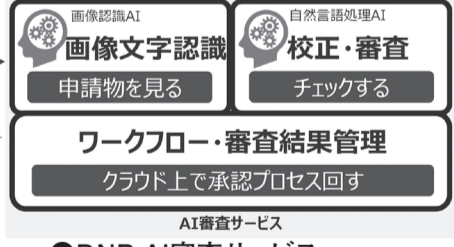
「化粧品・日用品業界 では、春と秋に多くの新 商品が発売される。新商 品の発表の後、その商品 が発注されるまでの短期 間に、メーカー営業は新 商品情報を卸売業指定の フォーマットで作成して メールで送付したり、卸売 業の商品マスタシステムに 登録したりしなければなら ず、提供方法がバラバラ で煩雑なうえに手入力に よるミスが起きやすくな

大日本印刷 AI技術用いて校正・校閲作業の省力化や工場の見える化を実現

大日本印刷(DNP) は、依然として人手に 頼る部分が多い印刷物 の校正・校閲作業を省力 化するための取り組みと して、2019年より商品 パッケージ向け校正・校 閲サービスの実証実験を 行い、正誤等の指摘事項 をAIで検出する「DNP AI審査サービス」として実用 等で作成した栄養成分表

「DNPではこのほ か、業務効率やデータ 利活用などの観点から 「工場の見える化」を 可能で、コロナ禍でコミ ユニケーションツールと して脚光を浴びている」 (同社)

「AIでの調査作業管 理により、製造現場の効 率化だけでなく、正し い作業を覚えるための教 育ツールにも活用でき ます。また、点検は、ス マートグラスを用いるこ とによってリアルタイム で映像を共有できるた め、ヘッドオフィスに 居ながら工場の監査立会 も可能で、コロナ禍でコ ミュニケーションツールと して脚光を浴びている」 (同社)



●DNP AI審査サービス

により多くの人が複数 異常行動を分析・検知す ることで事故を未然に防 ぐことも期待されている。 現場でも、デジタル化 したワークフローで進 捗をオンラインで管理 でき、校正・校閲や審 査などの業務が円滑に 行えるほか、企業にと ってはコスト削減やペ ーパーレス化にもつな がる。食品や飲料メー カーから導入がスター トし、サービス開始か ら既に100社以上の 様々な業種・企業から 導入を検討いただいでい る(同社)

DNPではこのほ か、業務効率やデータ 利活用などの観点から 「工場の見える化」を 可能で、コロナ禍でコ ミュニケーションツールと して脚光を浴びている」 (同社)